

株主の皆さまへ 慎重なご判断を！

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は、株主のAkatsuki Capital Works株式会社（以下「Akatsuki」といいます。）から請求を受け、臨時株主総会の準備をしております。

Akatsukiは「売上債権未回収13.4億円の責任は現経営陣にあり」として、「現取締役5名全員をクビにし、新メンバーと入れ替える」提案をしています。

しかしながら、13.4億円の未回収は、Akatsukiの詐欺行為によって発生したものであると、当社では考えております。

この度、資料をお届けしたのは、IR情報（適時開示）ではお伝えしきれない当社の現状について、正確な情報をお伝えし、臨時株主総会の判断にお役立て頂くためです。

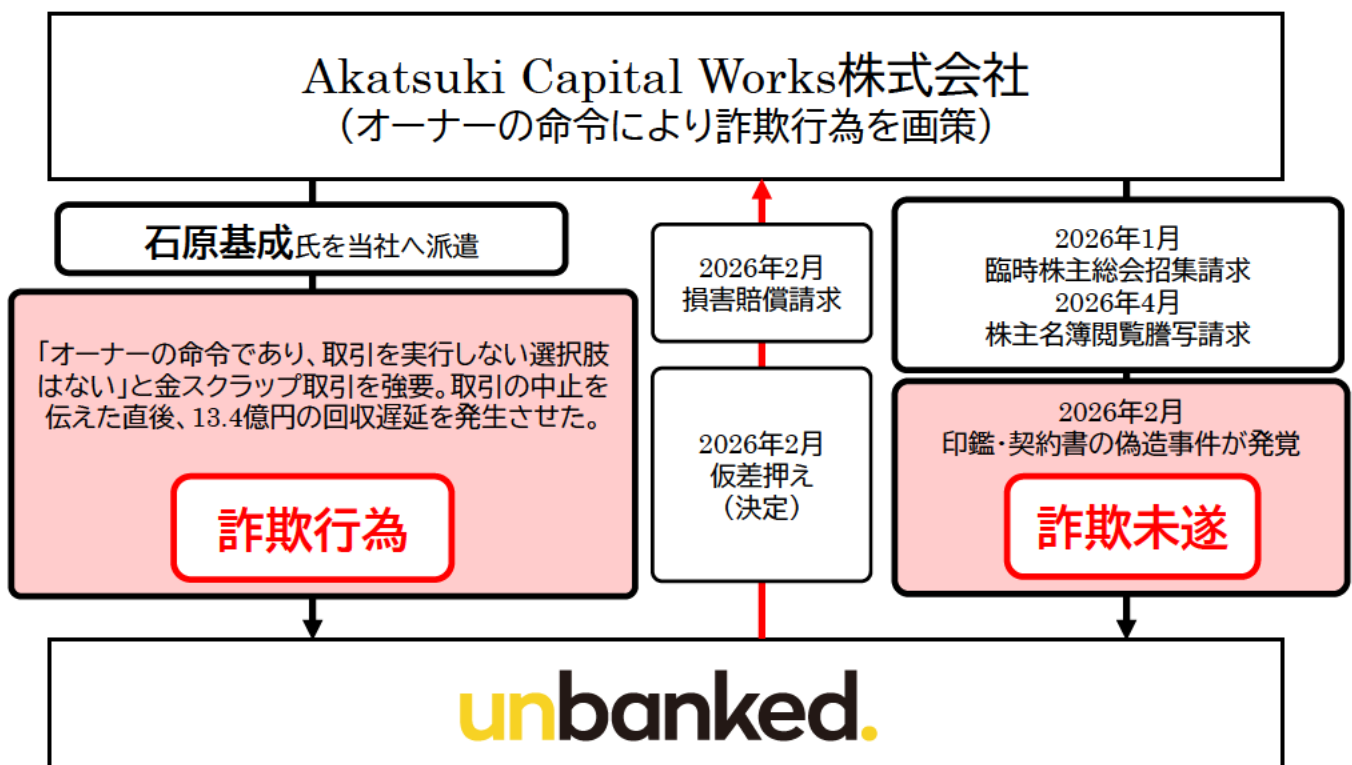
なお、本件詐欺被害に関して、株主、投資家の皆様をはじめ、関係者には多大なご迷惑、ご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

再発防止策を着実に実行し、信頼回復に向けて尽力してまいりますので、引き続き株主の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

unbanked株式会社
代表取締役社長 安達哲也

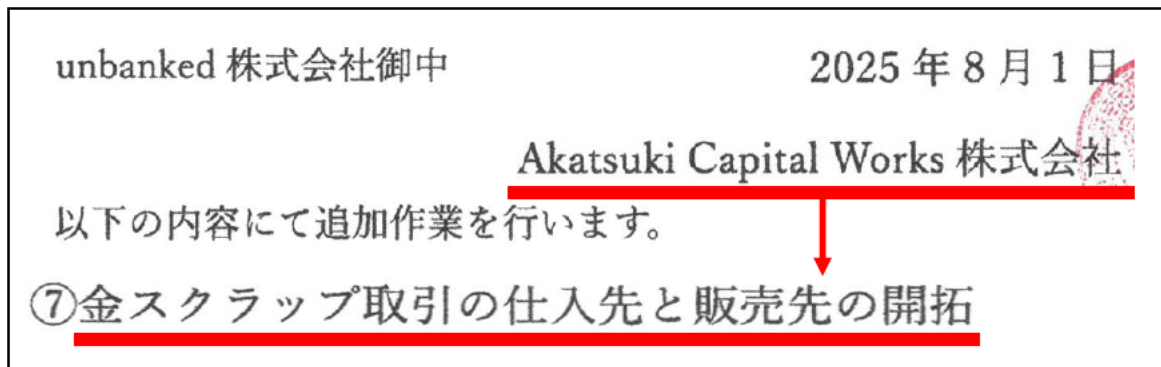
当社で発生していることの概要

- ・ Akatsukiが当社の金スクラップ取引を推進し、詐欺行為で当社に13.4億円の損害が発生。
- ・ Akatsukiは詐欺行為を隠ぺいする目的で、当社の乗っ取りを図っている。



Akatsuki主導で行われた金スクラップ取引

- ✓ 2025年7月：Akatsukiが筆頭株主となった後、当初は「当社の企業価値向上にご貢献いただける」友好的な株主様として対応しておりました。
- ✓ 2025年7月：Akatsukiは石原基成（本名「吳基成」）氏ほか数名を業務遂行担当者として指名し、当社に派遣しました。
- ✓ 2025年8月：Akatsukiは当社に「金スクラップ取引の仕入先と販売先の開拓」を追加作業内容とする通知書を差し入れました。この数日前に、石原氏が当社へ金取引を持ち掛けました。（Akatsukiが当社に差し入れた通知書：重要部分を抜粋）



- ✓ 当社は、石原氏に対し、取引時確認や不正会計防止のために必要な情報提供を依頼し、回答及び追加証跡を得たうえで金スクラップ取引を開始しました。（当社社員から石原氏に情報提供を依頼したチャットの一部）

 17:20
@石原 基成/Ishihara

7. 仕入先から「仕入先自身が仕入れたことを証明する書面」および「品質を証明する書面」のご提出をいただくことが可能か
8. 販売先は、仕入先へスクラッパーを戻すことはないということでしょうか？（仕入先→当社→販売先→仕入先→当社→販売先）
※同一の金が、実体のない形式的な循環取引とみなされると会計上の問題（売上高の水増し、粉飾決算）、消費税法上のリスクが発生する。

- ✓ 石原氏は、当社からの「取引相手に関連当事者（Akatsuki）に該当しないか」の質問に対し、「オーナーの紹介業者は該当するのかわ？」等の返答をしました。さらに、初回取引成立後、石原氏は、「オーナーサイドへ当社社員の頑張りを伝える」旨をチャットで報告してきました。

よって、**オーナー=Akatsukiのオーナー（内山勇人氏）を指すことは明らかです。**

（石原氏が当社社員へ送信したチャット）

 石原 基成/Ishihara 7月29日 20:03

②該当しませんが、どこまでを指しますか？**オーナーからの紹介業者は該当しますか？**

 石原 基成/Ishihara 12:56

短い期間での決済、お仕事、本当にありがとうございました
オーナーサイドへは皆さまの頑張りを伝えておきます

- ✓ 以後、13.4億円の回収遅延が発生するまで、Akatsuki主導で金スクラップ取引が行われました。

13.4億円の回収遅延発生と当社対応

- ✓ 2025年7月～11月、Akatsukiが仕入先・販売先を指定する形で金スクラップの仕入取引・販売取引が実行されました。
- ✓ 途中、資金繰りを勘案して高額な取引を謝絶し、販売代金入金の早期化、利ざやの改善などを申し入れしましたが、**要望は一切聞き入れられませんでした。**
- ✓ 2025年12月、13.4億円の回収遅延が発生し、金の売却先へ直接連絡を取り、転売先情報も入手し交渉しましたが、石原氏からは「オーナー（＝内山勇人氏）と協議している」旨の返答しか得られませんでした。

（石原氏が当社社員へ送信したチャット）



石原 基成/Ishihara 12月1日 14:07

勿論です、私もずっと追っていますし、オーナー陣に何度も話しております
こちら連絡待ち状態が続いております
状況変化あればすぐにご報告いたします



石原 基成/Ishihara 水曜日 14:13

おはようございます
アニス社と連絡取り合っていると聞きました
僕からも連絡の対応は必ずしていただくようお願いしています
また、オーナーサイドにもなんとかしてもらうよう掛け合っています

- ✓ 2025年12月、回収遅延が発生した状況下で、2025年12月に開催予定の臨時株主総会の中止を検討していたところ、2025年9月にAkatsukiから派遣されてきた高橋聡之氏（※）が、臨時株主総会の中止の適時開示を行わないよう述べるとともに、中止せずに増資すればそれと引き換えに約13億円を支払わせることができるかのような取引を持ち掛けてきましたが、当社はこれを謝絶しました。
- ※後に本名は鷲谷聡之氏、株式会社ACSLで1億5,180万円を不正流用したと開示されている者であることが判明。



高橋こと鷲谷聡之

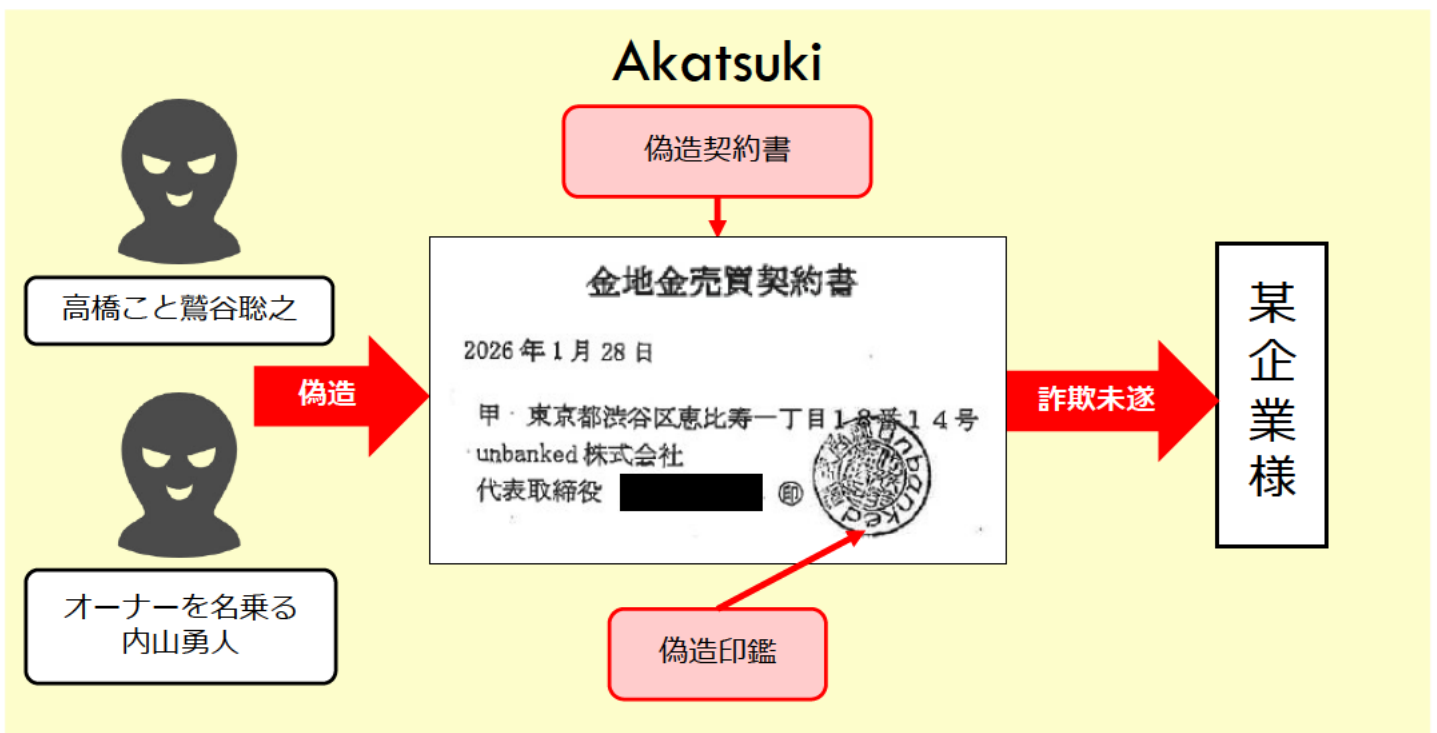
第三者がアニススタイルに貸付けして、アニススタイルに払ってもらえば、unbanked的に言うと、アニススタイルから払込みで終わったただけになります。多分（臨時株主総会の中止の適時）開示が出ちゃうと、その調整は僕もきかないんで、むずいなと思って。

Akatsuki側の推薦する候補者を当選させれば、13.4億円をアニススタイル(未収金相手)に支払わせることを持ち掛けてきたもの

- ✓ 2026年2月：当社はAkatsukiに対して仮差押えを申し立て、東京地方裁判所は**仮差押を決定**しました。
- ✓ 2026年2月：当社はAkatsukiらに対して、回収遅延13.4億円に関して、東京地方裁判所に**損害賠償請求訴訟を提起**しました。

Akatsukiの詐欺未遂行為

- ✓ 2026年2月、突如、某企業様から「貴社との契約内容について、確認したいことがある」等のお電話があり、当社はAkatsukiによる新たな詐欺未遂行為を認知しました。
- ✓ 詐欺未遂の内容は、Akatsukiから派遣されてきた高橋こと鷲谷聡之氏と、その配下で“オーナー”を名乗っている内山勇人氏が、当社の印鑑を偽造し、当社と某企業様との間で、偽の金地金売買契約書を締結し、当社の営業所（当社に営業所はありません）で金地金の売買を行うというものでした。
- ✓ もしこの取引が実行されていれば、某企業様は金地金を鷲谷氏及び内山氏に引き渡すものの、当社は契約書の存在すら知らない状態ですので、当然、代金支払いをすることはなく、某企業様が詐欺被害に遭っていたものと思われまます。
- ✓ そして、驚くべきことに、内山氏の住所地は、先の金スクラップ取引でAkatsukiが指定した仕入先の代表者と全く同じであったのです。
- ✓ Akatsukiは、2025年12月、当社に13.4億円の回収遅延を発生させ、今後、当社がAkatsukiの指定する金スクラップ取引を実行する見込みがないと察知するや否や、2026年1月、当社の印鑑を偽造し、偽の金地金売買契約書を締結するという暴挙に出たのです。



当社は、Akatsukiの詐欺行為、詐欺未遂行為に対して、民事訴訟はもちろんのこと、捜査機関への相談を開始しております。今後予定されております臨時株主総会では、株主の皆様にあられましては、これらの当社現状をご確認いただいたうえで、慎重にご判断いただきますようお願い申し上げます。